

外国人労働問題 考えて



登校中、毎日、私を追い抜いていく小さなバス。中には外国人労働者がぎゅうぎゅう詰めになっている。彼らはどついつ生活を送っているのだろうか。賃金をもらえるだけで満足なのだろうか。

今や都会に限らず、福井県においても外国人労働者が多く受け入れられている。外国人労働者の方には、異文化特有の多様な発想



もりや なつみ
森谷 夏実さん(大野高1年)

力があるし、しかも彼らを低賃金で雇うことができる。雇う側としては最高の条件だ。しかし、外国人労働者たち本人はどう思っているのだろうか。この記事を読むと、やはり長時間労働や低賃金が問題となっていることがわかる。さらに、その家族までもが言語や文化の壁で私たちに計り知れないほど苦しい思いをしていることも改めて知ることができた。

改正入管法を受けて、これらの問題を置き去りにしたまま外国人労働者を受け入れていくことは、彼らにとっても日本にとってもデメリットが多いことだと痛感した。